

KAZE

風

令和6年度 八尾小学校 学校だより

9月号 9月15日発行



りゅうばんのきずな

子供と関わるということ

校長 西村 護

先日、隣接する八尾保育所の、「幼児教育訪問研修会」に参加する機会がありました。幼児教育においては、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が共通の指針として示されています。その中には、「自立心」や「協同性」といった、今まさに、求められている資質能力そのものの内容も含まれています。

自律心を育むために、幼児の生活の中心である遊びの場面においては、「身近な素材や道具を使って考えたり工夫したりして遊ぶ姿」「試行錯誤しながら最後までやり遂げる姿」を、生活の場面においては、「困った時は保育者や友達に助けを求めながら取り組む姿」「自分で解決しようとする姿」等が見られるように、先生方は丁寧な関わりを心がけておられます。実際に私が参観した際も、先生が子供たちに何度となく話しかけながら、心の内にある思いを引き出し、願いをかなえてあげられるように丁寧に関わっておられました。決して、大人の考えを押し付けません。子供たちは安心して、自分のやりたいことに、思う存分取り組んでいました。こういった経験を積み重ねていくことで、少しずつ自律心が育まれていくように感じました。

また、夏季休業中に、八尾中学校区の小中学校4校の先生方が集まり、「八尾中学校区小中連携合同研修会」を開き、部会別に分かれて、子供が主体的に学んだり活動したりするための方策について意見交換しました。小学校と中学校の諸活動への取り組み方や教師の関わり方の違いを知ることができ、「今」を大切にするためには、子供たちの育ちを理解した上で、過去や未来とつなげて考える大切さや、言葉かけや見届け等、周囲の大人の役割について、改めて考えさせられた研修会でした。

学校では、学習指導要領に掲げられている「主体性」を踏まえ、子供たちの自主的な取組や発想を大切にしながら、授業改善や生活の見直しに取り組んでいます。教師からの一方的な指示にならないよう、子供自身で考えたりいくつかの選択肢の中から選んだりする機会を創出しようと努力しています。一方で、自分で決めることが難しいお子さんとは、対話を重ねながら、自分の思いを明らかにしていく過程を大切にしたいと考えています。

幼児と児童・生徒では発達段階が違いますが、保育所の先生方の子供の目線に合わせて本人が語り始めるまで根気強く待つ姿、子供の思いに寄り添いながら本人が納得できるように最大限のサポートをしておられる姿が忘れられません。予測困難な将来を生き抜く力を身に付けるために、子供たちとどのように関わっていくことが効果的なのか、これからも追究していきたいと考えています。

地域の皆様、保護者の皆様、2学期もどうぞよろしく申し上げます。

9月後半の主な予定

- 17日(火) 4～6年クラブ活動
- 21日(土) 市科学展(体育文化センター)(～22日)
中学校統一学校公開日
- 24日(火) 5・6年委員会活動
- 26日(木) 4年生宿泊学習(呉羽青少年自然の家)
- 27日(金) 4年生宿泊学習(呉羽青少年自然の家)
- 30日(月) 小教研9月部会

"



10月前半の主な予定

- 1日(火) 4～6年クラブ活動
- 2日(水) 1・2年校外学習(太閤山ランド)
- 7日(月) 下校指導
- 8日(火) 5・6年委員会活動
- 10日(木) 避難訓練
- 11日(金) 4年校外学習(科学博物館)
- 15日(火) 安全点検、ベルマーク回収日
5・6年委員会活動(卒業写真撮影)
- 16日(水) 6年こころの劇場(オーバードホール)

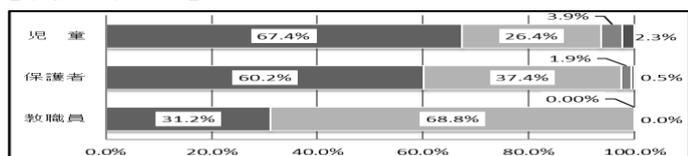
令和6年度 学校評価アンケート（7月実施）結果の報告



1学期末に、児童・保護者・教職員に同じ項目で学校評価アンケートを実施しました。その結果をお知らせします。グラフは左から、A・B・C・Dの割合を表しています。

A：あてはまる B：まあまああてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

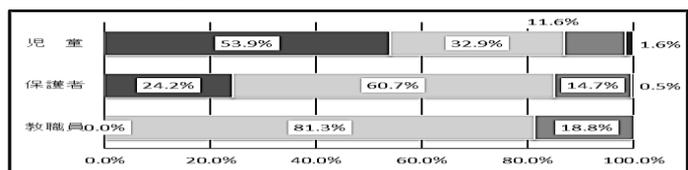
【学校生活全般】 1. 楽しく学校生活を過ごしている。



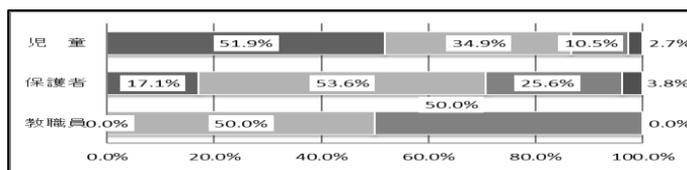
児童の肯定的な評価は93.8%となりました。多くの子供たちが楽しいと感じている一方で、楽しくないと感じている児童もいることから、一人一人に寄り添い、「できる・分かる」喜びを味わえる学習指導の充実、居心地のよい学級づくり、自分の力を発揮できる場や活動の工夫に努めていきます。

【知】 主体性のある子供

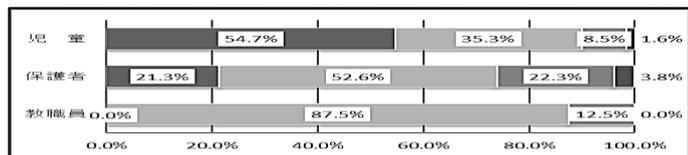
2. 授業中に話をしっかり聞いたり、自分の考えを話したりし、学んだことを生かすように心がけている。



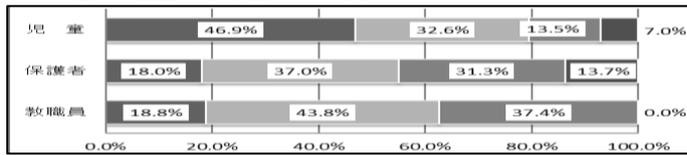
3. 授業で学んだことを身につけるために、工夫して家庭学習に取り組んでいる。



4. 学習で、自分の力をのばそうと目標に向かって努力している。



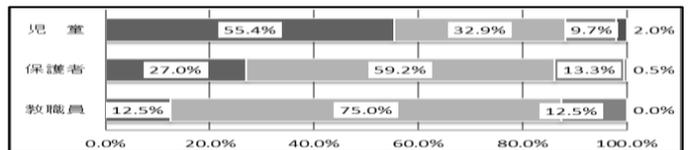
5. 進んで読書に取り組んでいる。



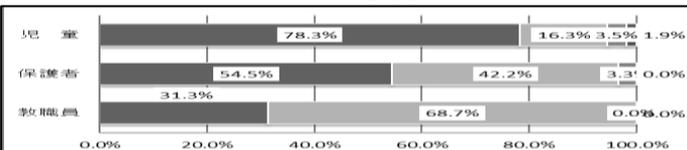
2、3、4、5の項目は、どれも児童の肯定的な評価が高くなりました。特に3は、工夫して家庭学習に取り組んでいると肯定的な評価をしている児童・保護者が増えています。4の「学習で、自分の力をのばそうと目標に向かって努力している」は、児童の主体性の具体的な姿として今年度からの質問項目に加えたものです。「こんな風になりたい」「こんなことができるようになりたい」と、一人一人が自分の願いに向かって努力していけるよう、さらに支援していきます。

【徳】 よく関わる子供

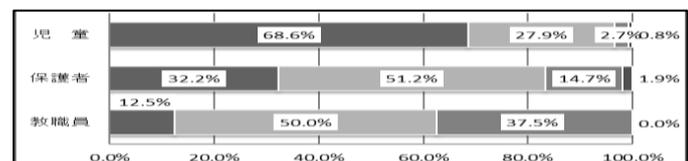
6. やさしい言葉遣いや思いやりのある行動を心がけている。



7. 人となかよくすごすことができる。



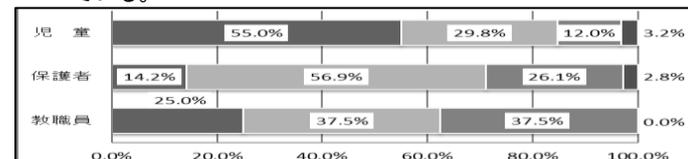
8. 家や学校、地域で、相手と目をつなぎ、自分から挨拶をしている。



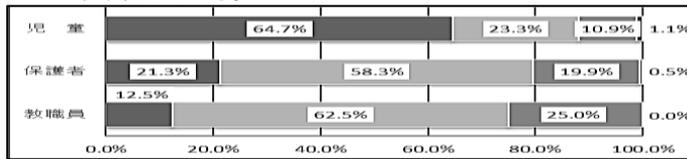
6の「やさしい言葉遣いや思いやりのある行動を心がけている」は、3者とも肯定的な評価が高くなりました。やさしい言葉遣いや思いやりのある行動を認め合うことで、さらに温かい人間関係を目指します。8の項目も、昨年度より目をつないで挨拶をしていると感じている子供が増えています。やさしい言葉遣い、思いやりのある行動、目をつないで挨拶など、具体的な行動を通して、よりよい関わり方を目指す子供の育成に取り組んでいきます。

【体】 心身共に健康な子供

9. 嫌なこと、面倒なことにもまじめに取り組み、やり抜こうとしている。



10. 心も体も元気に過ごすために、自分で決めた目標に向かって取り組んでいる。



9の「嫌なこと、面倒なことにもまじめに取り組み、やり抜こうとしている」は、昨年度より児童も保護者も肯定的な評価が増えています。自分がやると決めたことに向かって粘り強く取り組むことよさを感じ、やり抜こうとする児童が増えているのではないかと考えます。

10の「心も体も元気に過ごすために、自分で決めた目標に向かって取り組んでいる」は、今年初めての項目です。88%の児童が肯定的な評価でした。さらに、児童が自ら心身共に元気に過ごそうと意識して取り組んでいけるよう、支援していきます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後とも、温かいご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。